

DK **ダイコク電機株式会社**

株価
5,300円
2023.8.31終値

優待品換算金額
1,000円
通期

1株当たり配当金
50.0円
2024.3(予)

株主優待 割当基準日9月末日

QUOカード

株式保有数と継続保有期間に応じて進呈

保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上
100株以上～500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上～1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

※継続保有期間とは、3月および9月末日の株主名簿に同一の株主番号で以下の回数記載または記録されていることとする

- 1年未満：連続2回以下
- 1年以上3年未満：連続3回以上6回以下
- 3年以上：連続7回以上

DATA (2023年3月末日現在)

- 設立：1973年7月
- 資本金：674百万円
- 市場：東証プライム・名証プレミア
- 決算月：3月
- 発行済株式数：14,783千株
- 従業員数：645人

■お問い合わせ先
〒450-8640
愛知県名古屋市中村区那古野1-4-3
ダイコク電機(株) 総務部
xsomu@daikoku.co.jp
<https://www.daikoku.co.jp>

ニーズを先取りした革新的な製品・サービスでパチンコ業界を常に牽引

当社は、パチンコホール経営を支援する設備機器やサービスの開発・製造・販売、およびパチンコファン向けの情報提供サービスを展開している「情報システム事業」と、遊技機メーカー向けにソフト開発やハードウェアを提供する「アミューズメント事業」の二つを事業の柱にしています。特にパチンコホール向けコンピュータシステムに関しては市場シェア約4割と業界No.1*です。2022年11月に登場したスマートパチスロによりホールの設備投資が活発化し、カードユニット「VEGASIA」やホールコンピュータ「X(カイ)」情報公開端末「BIGMO PREMIUM」の販売が好調に推移し、2023年3月期の業績は大幅な増収増益を実現しました。スマート遊技機導入はまだ始まったばかりで、2024年7月には新紙幣発行も控えています。2024年3月期も株主の皆さまに利益還元を図れるよう、業績向上に努めていきます。
*ダイコク電機調べ

スマスロ、スマパチの登場で業績も株価も大幅アップ!

2022年11月に登場したスマートパチスロがパチンコファンに受け入れられ、ダイコク電機の顧客であるパチンコホールの設備投資が活発化。

スマート遊技機とは

- 玉やメダルに触れずに遊技できる次世代のパチンコ・パチスロ機。利便性や遊技性能、セキュリティが向上したため、パチンコファン、パチンコホール双方にメリットがある。
- ※スマート遊技機には専用のカードユニットが必要。

投資家の皆さまへ

代表取締役社長 かやもり まさかつ 栢森 雅勝

2022年11月に登場したスマート遊技機により、パチンコホール様の設備投資意欲は高まっており、2024年3月期は、非常に良いスタートを切ることができました。今後もスマート遊技機は拡大していくものと思われまます。また、2024年7月の新紙幣発行による設備更新需要もあり、ホールの設備投資は今後も堅調に推移していくものと考えています。この流れを逃さず、中期経営計画の軸となるクラウド活用やスマートパチスロの開発、コロナ禍で中止していた新製品開発や製品の世代交代、社内DX化への投資を加速させます。当社の今後の成長と持続的な発展をご期待ください。

業績(連結)

決算期	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3(予)
売上高(百万円)	33,068	23,345	24,390	31,824	38,000
経常利益(百万円)	1,674	986	1,367	4,260	4,350
1株当たり利益(円)	71.7	41.4	83.1	198.0	202.9
1株当たり配当金(円)	40.0	40.0	60.0	70.0	50.0

*2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用。同期以降の業績は当基準等適用後の数値
*2024年3月期の予想値は、2023年8月10日の公表値

財務データは基本的に連結(配当金のみ個別)の実績直近4期分を記載しており、予想1期分の数値記載については、各掲載企業の任意となっています。また、1株当たり配当金の「特」は特別配当込み、「記」は記念配当みであることを指します。業績についての掲載内容は各企業から情報提供を受けて制作したものです。最新の情報についてはご自身でご確認をお願いいたします。